

ちくせい

筑西広域市町村圏広報紙

2005

No.20

特集
ちくせい
伝統工芸めぐり

技の銘品

結城紬

散歩道 紬のまちを訪ねて

すくすくスクール

岩瀬町立岩瀬小学校

広域市町村の話題あれこれ

ニュースすくらんぶる

平成17年度予算

一般会計予算・特別会計予算

データ筑西広域

結城市、筑西市、岩瀬町、真壁町、大和村

●総人口 215,512人

●総世帯 66,435世帯

(平成17年7月1日現在)

写真:筑西市明野地区宮山から見た筑波山
(平成15年9月5日撮影)

撮影者:石田善也氏(筑西市玉戸)

編集・発行

筑西広域市町村圏事務組合

ホームページ <http://www.tikusei.or.jp>

1500年継承された技

第1回

結城紬

日本最古の織物技術

絹織物で最初に、国の重要無形文化財に指定されているのが「本場結城紬」です。その歴史は古く奈良時代までさかのぼり、常陸国の特産物として朝廷に上納された「あしぎぬ」が原形とされています。やがて常陸紬、結城紬と呼び名を変え、江戸初期には広く知られるようになりました。以来、多くの人々の手で継承され、昭和31年に国の「重要無形文化財」、昭和52年には「伝統的工芸品」に指定されています。

およそ1500年にわたり連綿と受け継がれてきた手法を守り、現在も全工程が手作業です。とくに重要無形文化財の条件として、「手つむぎ・絹くくり地機織り」の3つが指定され、さらに、幅・長さ・打ち込み数や模様ずれなど16項目の厳しい検査に合格することが必要とされています。

昔は紺地に縞模様(しまものよう)が定番でしたが、時代とともに色も柄も多様になりました。なかでも亀甲柄(きゅうこうがら)は反物の幅の間に80から100個入るのが標準的で、160亀甲ともなるとかなりの高級品です。最高は200亀甲の総模様で、まさに芸術品の域。めったに織られることはありません。

熟練の手仕事に支えられて

製造工程の流れを追っていくと、糸つむぎ、染色、絹くくり、糊つけなど、糸を仕上げるまでに大変な労力と手間のかかることがわかります。そして総仕上げとなる機織りも、正確さと根気が求められる作業。こうして地域のさまざまな人の手を介し、共同作業によって一反の織物が完成します。

農家の副業として携わる人が多いなか、結城市の宮本勲さん・衣子さん夫妻は、およそ



奥順(株)の資料館「手繕里」には、重要無形文化財の指定技術により作られた本場結城紬が多数展示されている



結城紬の歴史・製作工程・作品をわかりやすく展示する本場結城紬染織資料館「手繕里」(9:00~16:30、火曜休)



結城紬の 主な製造工程



手つむぎ／「湿気の多い日はいい糸が取れない」と語る宮本衣子さん



糸くくり／宮本勲さんは、茨城県本場結城紬協同組合理事長を務める

1 煮繭	2 真綿かけ	3 手つむぎ	4 糸あげ	5 染色	6 下糊つけ	7 図案作成	8 管まき	9 はたのべ	10 墨つけ	11 糸くくり	12 たたき染め	13 糸ほぐし	14 小割	15 糸合わせ	16 本糊つけ	17 糸くくり	18 おさ通し	19 機巻き	20 糸かけ	21 地機織り	22 検査	23 糊ぬき	24 製品
------	--------	--------	-------	------	--------	--------	-------	--------	--------	---------	----------	---------	-------	---------	---------	---------	---------	--------	--------	---------	-------	--------	-------

半世紀にわたり専業で結城紬を継承してきました。糸つむぎと機織りは衣子さん、糸くくりは勲さんの担当です。

結城紬の糸は長さの異なる纖維がからまり合うだけで、撚りをかけないのが大きな特徴。真綿から糸を引き出し、ムラなくたいたいに手でつむぐのは非常に難しい技術です。糸くくりは図案の柄に合わせて糸を綿糸でしばる作業で、複雑な柄だと2か月以上もかかります。固くしばるため、長年続けてきた勲さんの指先は変形してしまったそうです。さらにいくつもの工程を経て、衣子さんが地機で織り上げます。

「奥の深い織物ですから、本当に気に入ったものを一生に一反でも作れればと思っています」という勲さんの言葉に、一途な職人気質が感じられました。

奥深い魅力を次代へ



地機織り／衣子さんは機織りの指導者として、後継者育成にも活躍

奥順(株)新慎一郎さん。
着用の結城紬は義父である
奥澤順社長から贈られた品



奥順の若き後継者として修業を積む新慎一郎さんは、「着るほどに毛羽がとれ、光沢が出てくる本場結城紬。結城三代といわれる通り、親・子・孫へと思いを継承できるのが魅力です」と実感を込めて語ります。

手作りならではの味わいに加え、軽くて暖かく、しわにならない着心地の良さ。次の世代へ伝え続けていきたい心と技の結晶、それが結城紬です。



結城市の中心部には歴史ある社寺や史跡、蔵造りの建物が多く、街並みは城下町の風情が

たっぷり。市内を歩けば、結城紬の歴史を学んだり、織りを見学・体験したり、お土産に小物を買ったりと、紬のふる里らしい楽しみいろいろあります。



体験工房「紬の里」



本場結城紬「郷土館」

●体験工房「紬の里」

9:00～17:00
(土日は10:00～)
小学生などの団体客が多いため、体験は事前連絡が確実。

●本場結城紬「郷土館」

9:00～17:00
機織り体験は地機の構造上、身長145cm以上、14歳以上が適。

場結城紬の広報と普及に力を注いでいます。資料館「手織り里」の設立、全国の販売会での実演や語り部活動などもその一環です。こうして販売された結城紬は、全国各地から奥順へ一旦戻されます。その理由は、着物に仕立てるために前に「糊ぬき」の作業が必要となるため。最後の工程である「湯通し」にも熟練した技術が必要で、独特のやわらかさと風合いを出すのに欠かせない作業となっています。

紬のまちを 訪ねて



結城駅に近い問屋街には、織元のショールーム「郷土館」があります。1階には結城紬の歴史や生産工程に関する資料を展示、2階が工房と大展示場となっています。

「紬の里」は、機織りと藍染め体験ができる工房です。子どもたちにも作る喜びを体験してもらおうと、改造した織機を15台用意。初めての人でも気軽に「コースター」やテーブルセンターなどを織り上げることができます。

また、工房の土間には4つの藍がめがあり、ハンカチやバンダナなどの染めに挑戦。ほかにも手作

まくすくスクール

第13回 岩瀬町立岩瀬小学校

学力向上フロンティアスクールの取り組み

明治8年創立の岩瀬小学校は、約130年にもおよぶ歴史を有する伝統校です。規模も大きく平成17年度の全校児童数は568人。毎年100人前後の新1年生が入学してきます。

岩瀬小学校は平成14年度から平成16年度までの3年間、文部科学省から「学力向上フロンティアスクール」に指定され、意欲的に取り組んできました。目標は、児童一人ひとりの確かな学力を向上させ、生きる力を育むこと。そこで次の5つを柱として、算数を核に実践研究を行ってきました。具体的な内容について、研究主任の石田進先生に伺いました。



130年の歴史をもつ岩瀬小学校(HP <http://www6.ocn.ne.jp/~iwasee/>)

(1) コース選択少人数指導

3～6年生で実施。習熟度別に設定されたコースを選択しクラス分けします。

(2) 学習支援ボランティアの活用

1・2年生で実施。国語や算数の時間に、丸付けや学習の進み具合のチェックをするボランティアを地域から募集。専門性の高い授業をすることができます。

(3) 教科担任制

主に高学年の理科、社会、体育、音楽、図工、家庭などで実施しました。より専門性の高い授業をすることができます。

この成果を広く発信しています。



会長の小松崎登美子さん



仲間と一緒に福祉のまちづくり

(4) ふるさと学習

町の「人・もの・こと」とかかわりながら学びます。例えば石川業について学び、道するべや橋の欄干を作りました。

(5) 発展的・補充的学習の時間の充実

「ぐんぐんタイム」は国語や算数のプリント学習などをする時間。「ぐんぐんプリント」は算数のプリントを952枚作成し、学年にしばられず取り組めるようにしました。

このように、テストの点数を上げることだけを目指すのではなく、総合的な取り組みを実施してきました。その結果、成績と学習意欲の両方が向上です。

「が好きという児童が増えました」と話す石田先生から笑顔がこぼれました。岩瀬小学校では研究発表会などを通じ、この成果を広く発信しています。



4年生総合：道しるべづくりに挑戦



5年生算数：グループで学び合い



学校長の臼井正先生(左)と
研究主任の石田進先生(右)

ほつとひと息、楽しみながら福祉のまちづくり

エンジョイ!
CLUB

下館地域在宅介護を支える会

筑西市

夫婦で喫茶店を切り盛りしていた40代半ば、ご主人が脳卒中で倒れ左半身不随となりました。それをきっかけに介護者の主婦たちと出会い、井戸端会議を続けてきた小松崎さん。障害者用のトイレマップを作ろうと話がまとまり、平成10年「下館地域在宅介護を支える会」を設立。2年半がかりで街中を調査してマップを完成させ、無料配布しました。

毎月1回は高齢者を招き「ほつとひと息サロン」を開催。また、福祉の映画上映会を開き、その映画の舞台である秋田県鷹巣町まで日帰りツアーを強行したことなど。一昨年オープンしたしまだ地域交流センター1階には、交流と情報発信の拠点「ほつとひと息ステーション」を仲間とともに開設しました。来館者に車椅子や電動カートの貸し出しを行い、高齢者や障害者の外出と移動を支援しています。

さらに、かつての自宅を改築し、まちの駅「たまり場たろう」が誕生しました。精力的な活動からあたたかい人の輪が広がり、福祉のまちづくりが進んでいます。



会長の小松崎登美子さん



仲間と一緒に福祉のまちづくり

岩瀬町●

HP <http://www.town.iwase.ibaraki.jp>

「踊りコンテスト」納涼大会を開催 8月16日(火)

8月16日(火)、町観光協会主催による『納涼大会』が東桜川地内の調整池で開催されます。当日は、「石投げ」や「いわせよいとこ」の踊りコンテストが行われ、町内より20チーム以上600人の人たちが優勝を目指します。



指して踊ります。また、町内の保育所や幼稚園等の園児たちも特別参加し踊りを披露します。毎年、5,000人を越える観客でにぎわう納涼大会に、皆さんもぜひご参加ください。

お問い合わせ／☎0296-75-3111 まちづくり課

真壁町●

HP <http://www.town.makabe.ibaraki.jp>

まかべ夜祭を開催 8月20日(土)~24日(水)

8月20日(土)~24日(水)に御陣屋前通りでまかべ夜祭が開催されます。真壁の街並みの中に、地域の皆さんがあかりを灯し、去り



ゆく夏を偲びます。国伝統的工芸品「真壁石燈籠」にもあかりが灯り、昼間とは違った味わいを楽しめます。情緒豊かな静かなお祭りです。好きな人と浴衣姿で歩いてみませんか。

お問い合わせ／☎0296-55-4111 真壁町商工会

大和村●

HP <http://www.vill.yamato.ibaraki.jp>

「雨引の里と彫刻2006」 平成18年4月1日(土)~6月4日(日)

平成8年を機に7人の作家の参加から始まった野外作品展「雨引の里と彫刻」。回を重ねるごとに参加する作家の数も増え、今回で第6回目を迎えます。今回は「雨引の里と彫刻2006」と題し、村内外より44名



の作家が各々さまざまな素材を用い、素晴らしい芸術作品を広大な自然のエリア内(羽田地区「まほろば公園」を中心とした高森・青木・羽田の集落内)に設置・展示します。現在、来年の開催に向けて作家たちが着々と準備を進めています。

お問い合わせ／☎0296-58-5111(内線175) 企画課

結城市●

HP <http://www.city.yuki.ibaraki.jp>

結城盆踊り大会を開催 8月10日(水)

夏の夜の風物詩として、市民に親しまれている盆踊り大会。8月10日(水)午後6時30分から結城駅北口ロータリーにて開催します。



今年は、ゲストに橋幸夫さんを迎えて盛大に行われます。子どもから大人まで皆さんのご参加をお待ちしています。なお今年は場所が変更になりましたので、ご注意ください。

お問い合わせ／☎0296-32-1111 商工観光課

筑西市●

HP <http://www.city.chikusei.lg.jp>

筑西市誕生記念 あけの花ものがたり ひまわりフェスティバル 8月27日(土)~9月4日(日)

筑西市誕生を記念し、8月27日(土)から9月4日(日)まで、『ひまわりフェスティバル』を開催します。宮山ふるさとふれあい公園周辺の『ひまわりの里』約2.8ヘクタールに、およそ80万本の八重ひまわりと世界の



ひまわり10種類が元気に花を咲かせ、皆さんを出迎えます。また、10月9日(日)から11月3日(祝)まで、宮山ふるさとふれあい公園周辺の『コスモスの畑』で、『コスモスフェスティバル』を開催しますので、ぜひご来場ください。

お問い合わせ／☎0296-52-1111 明野支所経済課

関城の祭典 どすこいペア2005 8月20日(土)・21日(日)

8月20日(土)、21日(日)の両日、関城支所を会場に、関城の祭典『どすこいペア』を開催します。オープニングパレードに始まり、関脇・白鵬関を招いてのサイン会や古代相撲(平安朝相撲節会調)、レディース



相撲、ちびっ子相撲、腕相撲など各種相撲大会、梨狩り体験、地域特産物の物産店、アマチュアバンドや太鼓による各種ステージ発表など、楽しいイベントが盛りだくさんの『どすこいペア』。皆さん、ぜひご来場ください。

お問い合わせ／☎0296-37-6111

どすこいペア実行委員会事務局(関城支所経済課内)

広域すくらんぶる

茨城県結城看護専門学校



築地塀、体育館の亀甲模様など地域性が薫る校舎



「目的意識の強い学生が多い」と語る
廣江敏男校長

● 求人があるそう
です。地域の保
健医療サービス
を担う看護師を
目指し、今日も
学生たちは勉強
に励んでいます。

高齢化社会が進む中、看護師の役割はますます重要となり、看護師不足の解消が求められています。そうした背景のもと、平成5年4月に茨城県結城看護専門学校が開校しました。同校の特徴は、県市、筑西広域市町村圏事務組合、市医師会など、県と地域が一体となつて設立されたことです。そのため、県や地域から優秀な講師陣を招いて講義を行い、実習では地元病院や老人保健施設などの全面協力を得ています。

一年年の定員は50人で、修学年限は3年間。医療技術が日進月歩で高度化しているため、学ぶ内容は増える一方です。同校では実際の臨床とかけ離れない教育を行うために、積極

的に新しい教材を導入。また自宅での療養支援を想定し、早くから実習室に和室スペースを設置していました。

看護師を養成するうえで最も重要なことを尋ねると、「必要な知識・技術を身につけるだけでなく、豊かな人間性を養うことです」と宝田三枝子教頭が答えてくれました。その精神はさまざまな場面で教員から学生へ、先輩から後輩へと伝える努力がなされています。また同校には芸術の授業があり、絵画や音楽に加え、地域の伝統文化である結城紬を通して情操を育んでいます。

平成17年3月には第10回生が卒業し、開校以来461人の学生を送り出しました。その9割以上が看護師の国家資格を取得し、県西の医療現場を中心に活躍しています。

廣江敏男校長は「国家試験合格はゴールでなくスタート。看護師は臨床だけでなく、健康増進や福祉など幅広い分野で求められます。実際に毎年、卒業生数の倍にものぼる



1年生全員が同じ教室で授業を受けます



設備が充実した
看護実習室で、
宝田三枝子教頭

●沿革

平成3年6月11日 財団法人茨城県看護教育財団設立認可
平成4年12月15日 厚生省から看護婦養成所の指定を受ける
平成5年3月1日 教育庁から専修学校として認可される
平成8年3月6日 第1回生卒業

●課程・定員

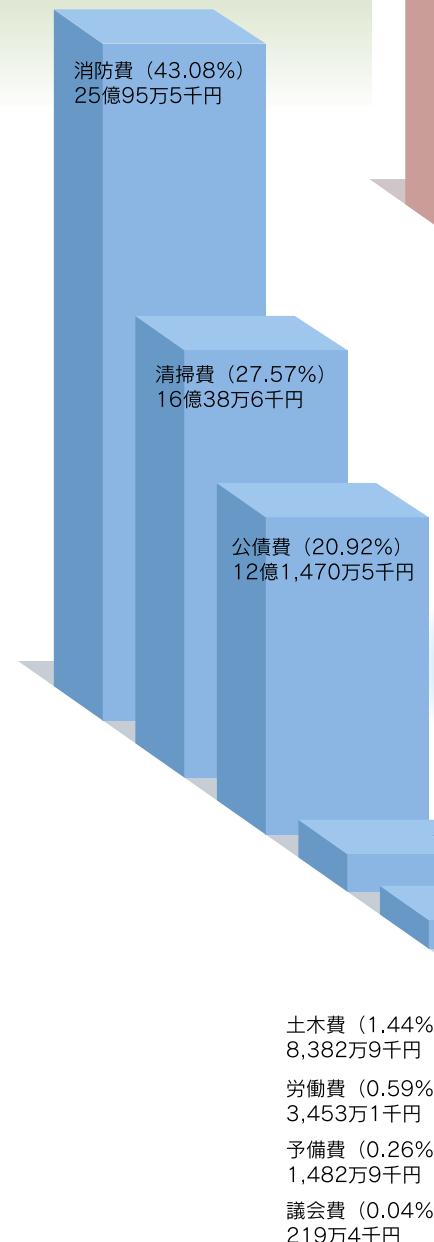
課程／専門課程、学科／看護学科、学年定員／50人、総定員／150人、修学年限／3年、在学年限／6年

●卒業後取得できる資格

- 看護師国家試験の受験資格
- 保健師、助産師学校養成所の受験資格
- 専門士の称号(卒業後、大学への編入ができます)

HP <http://www.yukinu.or.jp/>

予算



分賦金 (87.15%)
50億5,930万4千円

使用料及び手数料 (7.51%)
4億3,615万7千円

繰越金 (1.94%)
1億1,236万9千円

歳出
58億520万4千円

一般会計予算

58億520万4,000円

[平成17年度市町村別分賦金内訳]

市町村名	負担額	構成比
結城市	11億9,703万8千円	23.66%
筑西市	26億7,585万6千円	52.89%
岩瀬町	4億7,757万2千円	9.44%
真壁町	4億9,852万5千円	9.85%
大和村	2億1,031万3千円	4.16%
計	50億5,930万4千円	100.00%

歳入

58億520万4千円

分 賦 金

構成5市町村が負担している負担金

使用料及び手数料 ゴミ・し尿処理施設等の使用料、火葬・斎場使用料、筑西遊湯館、訓練センター使用料及び消防の危険物施設の申請手数料等

国 庫 支 出 金

消防車両への国からの補助金

県 支 出 金

県西総合公園への県からの委託金

財 産 収 入

組合財産の運用及び売払収入

諸 収 入

預金利子等

組 合 債

組合施設等の整備に必要な借入金

組合債 (1.03%)

5,960万円

県支出金 (0.82%)

4,790万5千円

諸収入 (0.82%)

4,753万3千円

財産収入 (0.39%)

2,259万2千円

国庫支出金 (0.34%)

1,974万4千円

議 会 費

組合議員26名の報酬の他議会運営に係る経費

総 務 費

組合事務局・組合全般に係る経費

筑 西 遊 湯 館 費

筑西遊湯館の管理運営に係る経費

土 木 費

県西総合公園の管理運営に係る経費

清 掃 費

環境センターのゴミ・し尿の処理業務及び管理運営に係る経費

火 葬 場 費

きぬ聖苑(火葬・斎場)の管理運営に係る経費

消 防 費

消防・救急業務の管理運営に係る経費

労 働 費

筑西地域職業訓練センターの管理運営に係る経費

公 債 費

借入金の元金、利息の返済にあてる費用

特別会計 予算

1億7,089万3,000円

筑西ふるさと市町村圏特別会計

歳入総額 1,671万円

歳出総額 1,671万円

ふるさと市町村圏特別会計では、10億円の「ふるさと市町村圏基金」を設置し、その利息により文化、人材活用・育成、地域イベントの開催など、さまざまなソフト事業に取り組んでいます。

老人福祉事業特別会計

歳入総額 1億5,418万3千円

歳出総額 1億5,418万3千円

老人福祉事業特別会計は、大和村にある老人福祉センター「あまびき」の運営、管理にあてられています。

お知らせ INFORMATION

情報公開・個人情報 保護条例実施状況

筑西広域市町村圏事務組合における平成16年度の情報公開条例及び個人情報保護条例の実施状況は、次のとおりです。

	情報 公開	個人情報 保護
開示請求	2件	0件
決定内 容	(1)全部開示	2件
	(2)一部開示	0件
	(3)不開示	0件
異議申立て	0件	0件

環境センターからのお知らせ

毎月第1日曜日に持ち込みごみ の受付を実施しています

◎受付日

平成17年／8月7日・9月4日・10月2日・
11月6日・12月4日

平成18年／1月8日・2月5日・3月5日

◎受付時間

午前8時30分～11時30分

午後1時～4時30分

◎料金

家庭ごみ／10kgにつき100円

事業系ごみ／10kgにつき200円

【お問い合わせ】

環境センター TEL. 0296-33-3755

茨城県筑西市下川島658

「福祉センターあまびき」

広域圏内マイクロバスにて無料送迎!! 一部リフォームにより快適に!!

豊かな緑と静かな自然環境に恵まれた「福祉センターあまびき」。エアコン等一部リフォームし、これまで以上に快適に、そしてさまざまなサービスで皆様をお迎えいたします。ご宿泊以外にも、休憩や会議、祝事、法事などにお気軽にご利用ください。



お問い合わせ
TEL.0296-58-5211(代) FAX.0296-58-7780

消防車両2台を寄贈

15年間の長きに渡り、広域圏内の皆様の『安全・安心』をサポートしてまいりました水槽付消防ポンプ自動車2台が、今年3月経年劣化により車両更新廃車となりました。これに伴い、海外の消防後進国に寄贈して欲しいとの要望があり、水槽付きでもあることから、水利事情の悪いタイ・ミャンマー・ラオスとの国境付近、ゴールデン



ライアングル地帯に日本国際親善厚生財団より寄贈する運びとなりました。2台の車両が海外親善車両として、第二の活動場所で活躍してくれる期待しています。

「スポーツマッサージ」が 筑西遊湯館にオープン!



「半健康」から「健康」へ、あなたもリフレッシュしてみませんか？ Jリーグ鹿島アントラーズ前チーフトレーナーの竹田知己氏がプロデュース。他とはひと味違うマッサージを是非ご体験ください。

お問い合わせ
TEL.080-6521-0091

クイズで知るちくせい広域

抽選で8名の方に筑西広域の特産品をプレゼント!
※当選者は次号の「ちくせい」で発表させていただきます。

問1  <p>毎年8月に開かれる筑西市(旧関城町)の相撲の祭典。現役力士によるサイン会や、ちびっこ相撲、レディース相撲、古代相撲などの各種相撲大会などを行っています。古い歴史のある特産品の梨と、伝統行事の「梨相撲」を結びつけ、この名前がつきました。</p> <p>答え:○○○○ペア</p>	問2  <p>筑西市にある県西最大の公園。広々とした公園内には、サッカー、ラグビー、野球ができる多目的運動広場をはじめ、テニスコート(12面)、スケートボードやインラインスケートの練習場、バーベキュー広場などがあり、多彩なイベントに利用できます。</p> <p>答え:○○○○総合公園</p>	応募方法 ／官製ハガキの裏に、4問すべてのクイズの答えと、住所、氏名、年齢、電話番号を明記してご応募ください。 応募先 ／〒308-0803 筑西市直井1076 応募締切 ／平成17年9月30日(金) 当日消印有効
問3  <p>大和村で採れた黄色い柑橘系果物のママレード。ほどよい甘みと豊かな香り。本物の風味をまるごとびんに詰めた逸品は、全行程が手づくり。精魂込めて育てた○○の果肉からママレード用のものを厳選しています。他にもキウイとウメのママレードがあります。</p> <p>答え:○○ママレード</p>	問4  <p>国の重要無形文化財(昭和31年)、伝統的工芸品(昭和52年)にそれぞれ指定され、全国にその名が知られている結城市的高級絹織物。全行程が手作業で行われ、高い品質を維持しています。表面がふんわりとした平織りとちりめん状の縮み織りがありますが、現在では、ほとんどが平織りです。</p> <p>答え:結城○○○</p>	前号の答え 「あけのたきぎのう」 応募総数 162通 当選者 8名 <p>小野 夕エ子さん [筑西市(旧下館市)] 谷口 雅子さん [筑西市(旧下館市)] 秋山 美樹さん [筑西市(旧関城町)] 渡辺 恵子さん [筑西市(旧明野町)] 斎藤 芙美子さん [結城市] 飯田 米子さん [岩瀬町] 梅島 健一さん [岩瀬町] 桜井 輝夫さん [真壁町]</p>